

銀の皿

「継続は力なり」



これは一度、話をさせて頂いた事ですが、今から約 20 年ほど前、姉が両親にフランス料理のフルコースを“プレゼント”しました。それは私達家族にとって初めての体験（フランス料理を食すことが）で、とても刺激的な出来事でした。噂には聞いていた、おフランス料理。実際にズラーッと料理の間に並べられたナイフとフォーク、「どうやって食べるん！？」と息を飲む豪華な料理達に、山崎家はただただ圧倒されたのでした。

そこで物怖じせず、それらのコース料理に立ち向かった一人の男がいました。それが父です。しかも彼は並べられた食器にわき目もふらず、予備的に置かれていた箸を取り出し、すべての料理を箸一本で平らげてしまいました。そして父が食後、最後に言い放った言葉は「(使い慣れた) 一つの道具にこだわる、それが職人だ、ガハハッ！」でした。そんな父の姿につられて笑い、私達は圧倒されたのでした。大工一筋 50 余年、今も現役で仕事を続けている父ですが、雨以外で仕事を休んだことがありません。そんな仕事に対して実直な父を見るたびに、「継続は力なり」という言葉を体現しているなと思わされます。

そんな事を思い返している時、与えられた聖書の言葉があります。それは「求めなさい、そうすれば与えられるであろう」です。天の父は求め続ける私達に良いもの（聖霊）を与えると約束して下さっています。強調したいことは「私達があきらめずに継続して祈り続ける時、神の手は差し伸べられ、そして私達を包み込んで下さる。」という事です。これが聖書信仰に立つ者の「継続は力なり」です。共に主をあがめ、前進してまいりましょう。